

# 安全のしおり



令和7年7月1日  
通算第356号  
安全・適正就業委員会

【安全は無理せず焦らず 油断せず】・【高齢者 自信過剰は事故のもと】

## ■ 夏の交通安全運動

— ヘルメット かぶるあなたは カッコいい —

7月10日(木)～19日(土)

重点目標

- ・自転車乗車用ヘルメットの着用の交通ルール遵守
- ・飲酒運転の根絶 ～飲酒運転ゼロを目指して～
- ・歩行者の安全確保と安全運転の励行

市内事故 発生状況 (5月末 現在)	交通事故	・ 165件
	死者数	・ 0件
	負傷者	・ 189件

## 「はればれ運転」でいこう！

はればれ運転とは、「危険を避けるため、運転する時と場所を選択し、運転能力が発揮できるよう心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能の低下を補うような運転方法を採用すること」をいいます。

- 《具体例》
- ・視界が悪い雨の運転は控える
  - ・長距離運転はやめて、近所の運転に努める。
  - ・体調が悪い時は運転を控えて、タクシーなどを利用する。
  - ・夜などくらい時間は、運転を控える。

## ■ 安全・適正就業強化月間 【7月1日～7月31日】

7月はシルバー人材センター安全・適正就業強化月間です。千葉県シルバー人材センター連合会によりますと、令和6年度傷害事故は、前年比109.6%、賠償事故は、前年比113.7%と増加しており、特に巡回パトロールや安全講習会などの安全対策を実施しているにもかかわらず同様の事故が繰り返し発生しているとのことです。

事故を未然に防ぐためにも1人ひとりが高い安全意識を持ち、就業にあたっては事前の安全確認、作業における危険予知や予測など、基本を忘れず、初心に戻ることを心掛けましょう。

これから作業によっては繁忙期になります。忙しい時期だからこそ、改めて安全に対して意識し、事故ゼロを目指しましょう。

## ■ 熱中症 応急処置のポイント

梅雨入りしたにも関わらず、真夏のような暑さが続いています。前月号では熱中症の予防方法をお知らせしましたが、万が一、熱中症と思われる症状が出た場合には、早急な対処が求められます。そのためご自身はもちろん他人も助けられるように、応急処置・対処法について確認し、熱中症の重症化を防ぎましょう。

### ⚠️ もし熱中症かなと思った時は・・・

- すぐに医療機関へ相談し、または救急車を呼びましょう。
- 涼しい場所へ移動しましょう。  
クーラーが効いた室内や車内に移動する。屋外の場合は、風通りのよい日かげに移動し、安静にする。
- 衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう。  
衣服を緩めて、体の熱を放出する。水や保冷剤で首筋や脇、足の付け根等を冷やす。皮ふに水をかけて、うちわ、無ければタオル等であおぎ、体を冷やす。
- 塩分や水分を補給しましょう。  
できれば水分と塩分を同時に補給できるスポーツドリンクなどを飲む。

**熱中症は命に関わる危険な症状です。甘く判断せず、早めに対処しましょう。**